産学官民一体のまち丸ごと スポーツジム化計画

Let’ s リフレッシュ！

<国道 25 号～美章園駅>

メインターゲット
若者、帰宅途中の会社員

エリアの特徴
天王寺駅に近く都会からつづくエリアであり、若者の１人暮らし（特に男性）が多い地域である。

スポーツ空間デザインのコンセプト
天王寺から帰りに一駅歩いてリフレッシュしたくなるような空間をデザインする。帰宅途中にふらっと寄って、気軽にスポーツができるように、緑道には筋トレエリア、ダーツエリアを設置する。若者に人気のスケートボードエリアも週末などに賑わうことを想定している。周辺の公園には健康遊具を設置し、スポーツでのリフレッシュの機会を提供する。

パースの説明
筋トレエリアの中央に、自由に過ごすことができる大きな滞在空間を設置し、その周りに様々な筋トレ器具を配置する。それぞれのペースで休憩しながら、筋トレを快適に楽しむことができる。

懐かしレトロスポーツ

<美章園駅～桃ヶ池公園>

メインターゲット
幅広い世代の人々

エリアの特徴
歴史を感じることができる、レトロな高架下商店街があるエリアである。しかし、商店街は空き店舗も多く廃れてきているのが現状である。そこで、緑道の整備に合わせて商店街の活性化を行いたいと考えた。

スポーツ空間デザインのコンセプト
子どものころにやっていたような、リレー、ドッチビーや竹馬、一輪車、体操マット運動などの懐かしいスポーツを楽しむことができる。

パースの説明
美章園エリアの昭和レトロな雰囲気を反映したデザインを緑道などに取り入れる。高架下には駄菓子屋やスポーツ用品などの商店を誘致する。昔懐かしの景観を意識した。

高架下スポーツパーク

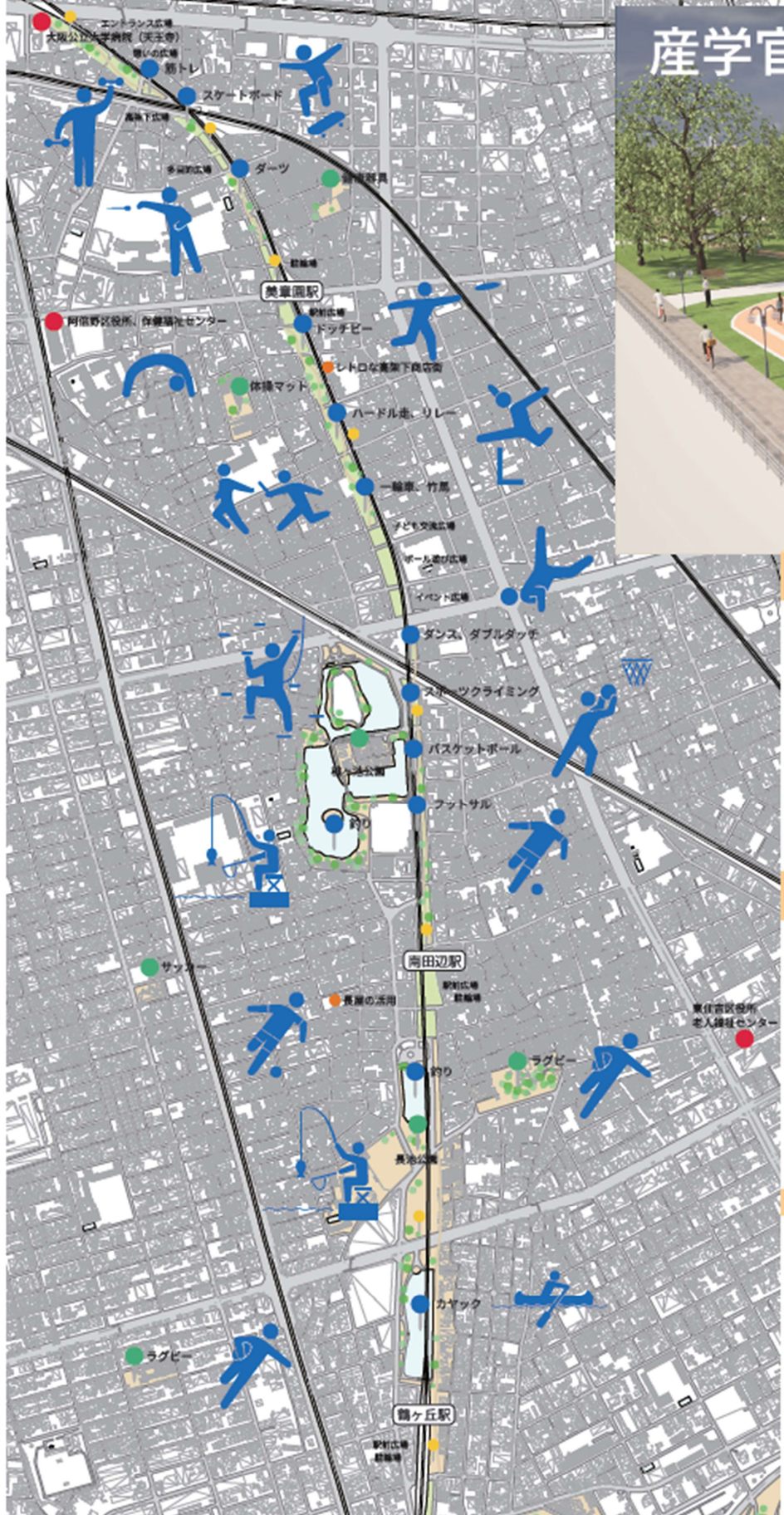
<桃ヶ池公園～南田辺駅>

メインターゲット
幅広い世代の人々

エリアの特徴
このエリアは未利用の高架下空間が連続して多く残っている。また桃ヶ池公園という大きな池を持つ緑豊かな大きい公園があるエリアである。

スポーツ空間デザインのコンセプト
桃ヶ池公園と一体化した、高架下スポーツ空間を提案する。高架下の空間を有効活用し、スポーツクライミングや、バスケットボールなど多様なスポーツを楽しむことができる。桃ヶ池公園では釣りを楽しむことができる。

パースの説明
高架下に、難易度別にクライミングを数種類設置する。子どもから、大人まで楽しむことができる。遊歩道から、気軽に観覧空間にアクセスできるような道を配置し、散歩中にも他のスポーツへの興味をそそる工夫となっている。カラフルで見ていて楽しく、自分もやってみたくなるようなクライミング空間である。



対象地域：大阪府大阪市 阿倍野区・東住吉区・住吉区のうち 主に JR 阪和線（美章園駅～杉本町駅）沿いの地域

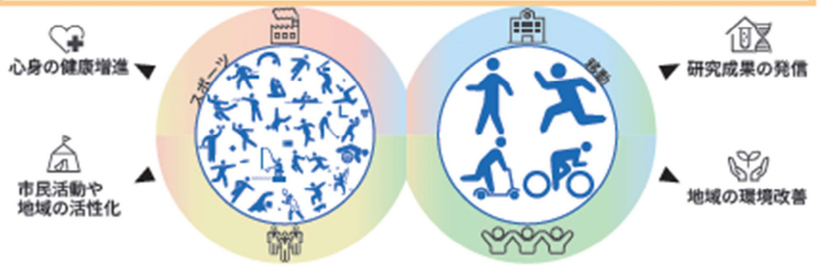
課題：阪和線高架の両脇及び高架下に連続して存在する全長 5.5km, 標準幅員 29m の広大な低未利用地
（廃止された高速道路建設計画によって残されたもの）

大阪市の計画：都市計画道路「天王寺大和川線」を整備する
『風かおるみち』という愛称をつけ、人とみどりが優先の緑道及び遊歩道を整備する
道宮、イベント広場や子供たちの遊び場となるポール遊び広場などが設置される計画
また住民主体の組織が行政と地域協働で維持管理やイベント運営等を行う

私たちの大阪市の計画に対する考え：
- 緑道を作るのはいい考えだが、右の写真のように現状ほとんど人が歩いていないうえに変わり映えのない空き地に、変化のあまりない緑道を延々と作ったとしても、歩く人はあまり増えないのではないか？
- スポーツの力を借りることで、より多くの人がこの場所で身体活動を行うようになるのではないか？
- 大学や大規模な医療施設などが近くにある立地特性を活かして、それらの組織との連携によりこのハード整備をもっとより周辺住民にとって有益かつ持続的な価値を持つものにできるのでは？

→大阪市の計画をベースに、この地域に対して独自の提案を行うこととした

緑道の周辺全体を大きなスポーツジムと捉えて、様々なスポーツの場という「目的地」を各地域コンセプトに基づき点在させ、移動を含め、人々の身体活動を活性化する



市民のスポーツ・健康づくりの活動を産学官民連携によって支え これまでにない価値を共創する

まち全体のスポーツジム化を支える３つのツール

スポーツ BOX

市民があらゆるスポーツへ参加することを可能にする

- 緑道および公園に設置
- １回 100 円で各スポーツエリアで使用する競技用品を貸出
- 貸出の予約も可能

- 機体の側面などには、スポーツ用品を提供する企業やチームが広告を出すことができる

専用アプリ

市民のスポーツ参加とスポーツを通じた地域コミュニティの醸成をサポートする

- スポーツ貸出予約機能
- マップ機能
- イベント情報の発信

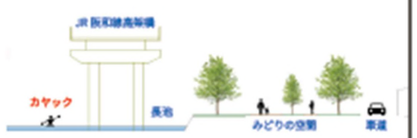
- コミュニティ機能で市民のスポーツを通した交流を生む（市民同士の試合観戦など）
- 市民の健康状況やスポーツ活動の実態、イベントや設備の満足度をデータで把握

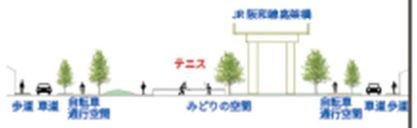
サポート SPOT

市民のスポーツ参加を快適にする

- レンタルモビリティ
- 水飲み場
- シャワールーム
- 更衣室
- 集会室

- そのエリアの特徴や地域資源を反映した外観デザイン
（南田辺のリノベーション長屋をイメージした建物など）





スポーツチーム振興エリア

<南田辺駅〜長居公園>

メインターゲット
子ども、スポーツチームのサポーター

エリアの特徴
このエリア内にある鶴ヶ丘駅はヨドコウ桜スタジアムの最寄駅であり、サッカーチーム（セレッソ大阪）や、ラグビーチーム（NTT ドコモレッドハリケーンズ大阪）の本拠地エリアである。

スポーツ空間デザインのコンセプト
地元サッカーチーム、ラグビーチームを応援、普及するようなデザインにする。エリア北の方、高架の西側には長池公園もある。長池では、池ならではのスポーツである、カヤックをすることができる。

パースの説明
近隣の公園に、サッカーやラグビーを練習できる多様な器具を設置する。チームカラーやチームモチーフを意識した装飾や器具により、地域からスポーツを盛り上げる。スポーツ BOX の側面にはチームの広告や情報を掲示することができる。

スポーツダイバーシティ

<長居公園〜南住吉大空小学校>

メインターゲット
高齢者、障がい者など多様な人々

エリアの特徴
このエリアには長居公園（障がい者スポーツ施設もある）があり、現状でも多くの人がスポーツに取り組むエリアであるが、今よりもより多様な人が関わり合い、スポーツに参画するエリアを目指した。

スポーツ空間デザインのコンセプト
高齢者や障がい者の方でも取り組むことができるスポーツを配置した。定期的な大会、交流会の開催により幅広い世代の人がスポーツを通して時間を共有し合うことで地域のコミュニティを生み出す。車椅子や歩行補助具の利用者でも利用しやすいように、バリアフリーな環境を整備する。快適かつ安全にスポーツを楽しむことができる。ダイバーシティなデザインを意識した。

パースの説明
ポッチャは、近年障がいの有無に関わらず、老若男女、誰でも楽しむことができるスポーツとして注目されている。観覧席やその屋根も多様性をイメージして、様々な色と形を組み合わせたデザインとした。

若さ溢れるストレッチエリア

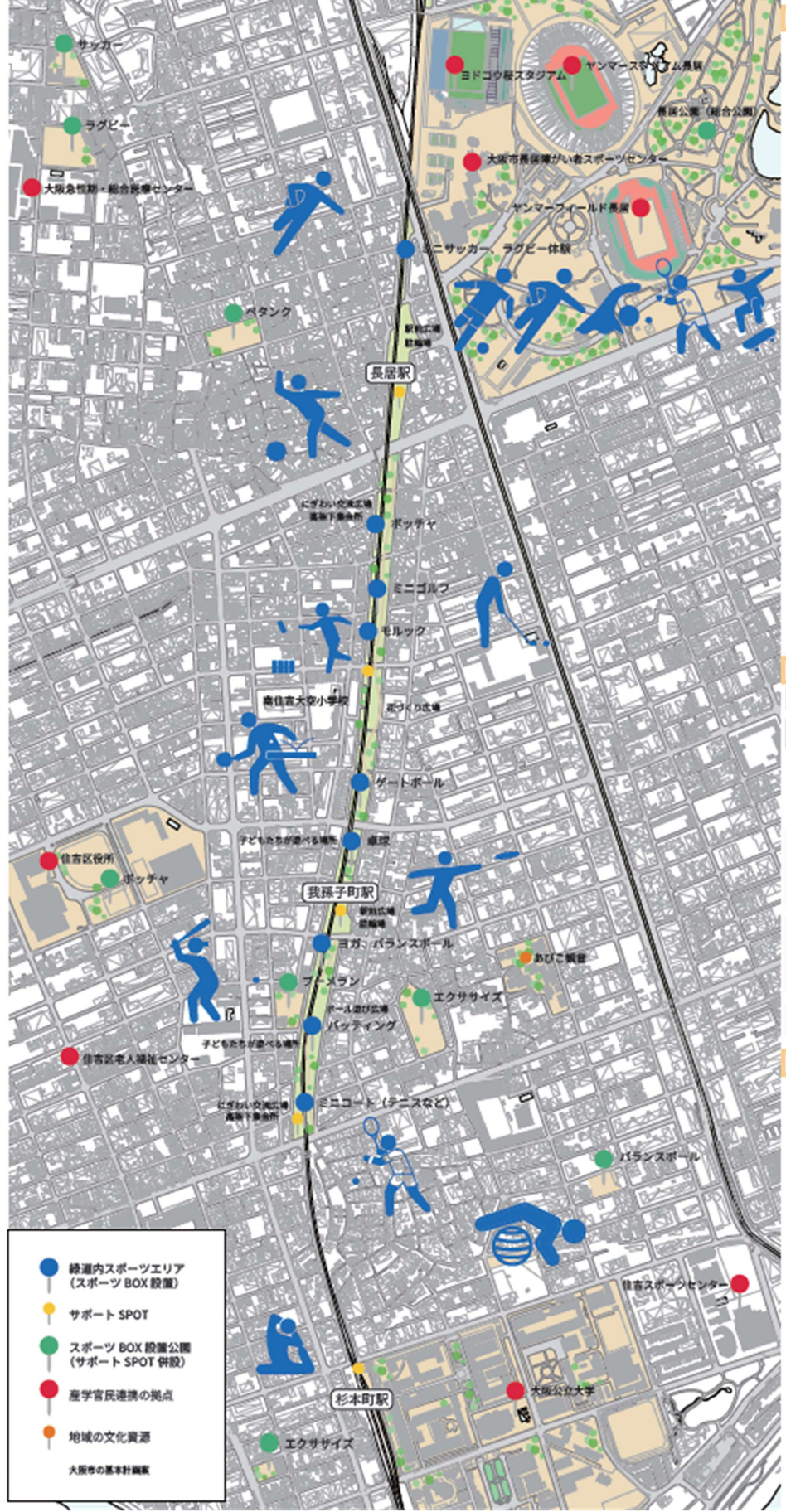
<南住吉大空小学校〜終点>

メインターゲット
大学生、若者、子ども

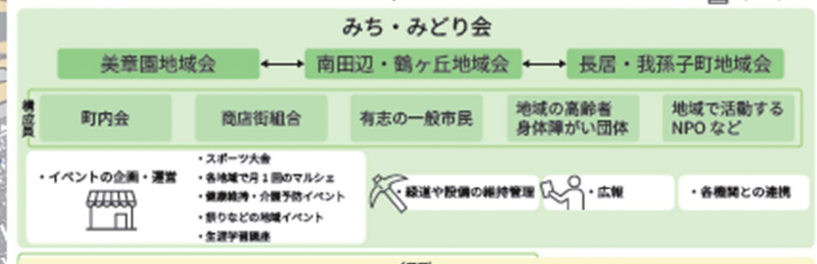
エリアの特徴
このエリアは、大学に近く、学生や若者が多い地域である。

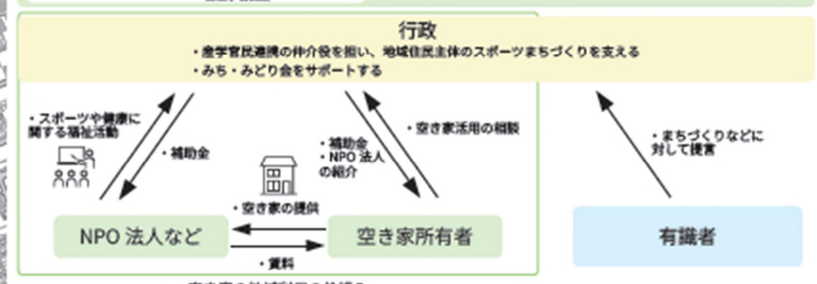
スポーツ空間デザインのコンセプト
学生のサークル活動などでも利用できるミニコートを配置し、学生の若々しい姿を見て、周辺住民の若さを引き出し、結果的に多世代のスポーツ参加を促進したいと考えている。芝生の上で自然を感じながら、リフレッシュできる空間も多く配置している。スポーツに取り組む者同士が交流できるなど、サークル団体や、チームの結成を通じて、コミュニティが生まれ、活気が溢れる。

パースの説明
広々とした芝生の上でのヨガ講座、バランスボールを使ったストレッチ講座などを行うことができる。四季を通して季節の花が咲くように花を植えて、華やかで多彩な彩りを持たせている。遊歩道に沿って、小川が流れ、水の潤いも感じられるエリアである。



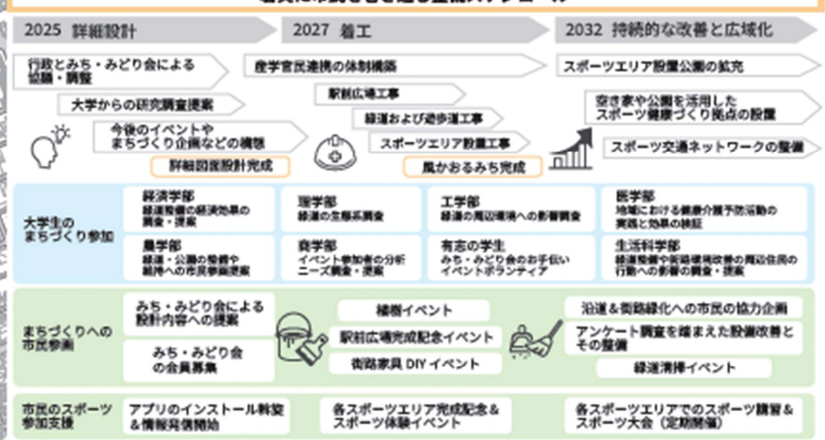
産学官民連携の枠組み



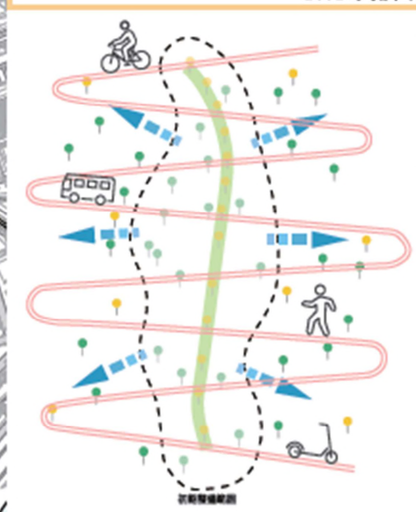


空き家の地域利用の枠組み

着実に市民を巻き込む整備スケジュール



2032 年以降の将来ビジョン



・スポーツジム化を行う地域範囲を拡大する

・スポーツエリア設置公園の増設
・空き家や公園にサポート SPOT を増設

→スポーツ交流人口の増加
→身体活動量のさらなる増加

空き家改修型サポート SPOT

・大阪市に多く存在する市営住宅の空き住戸も活用
・NPO 法人などが入居し、市民のスポーツや健康に関わる活動を行う

・緑道や各スポーツエリア設置公園、地域のスポーツ施設などを繋ぐスポーツ交通ネットワーク網の整備

・レンタルモビリティ設置箇所の充実
・スポーツオンデマンドバスの運行
・緑道へ繋がる主要道路の緑化、歩行環境改善

→より広範囲の市民が多様なスポーツにアクセスできる
→多世代の市民のスポーツ参加意欲を高める